

# 第1回 白石地域部会 議事録

場所：白石区役所 2階会議室 窓側

日時：R4.4.20(水) 10:30-12:00

○出席者 常盤野会長・斎藤副会長・相談室きよさぼ岡崎氏・竹本氏・ワンオール赤杉氏・夢民長瀬氏・社協柳氏・こころか服部氏・相談室あゆみ岸井氏・ピアデザイン稲垣氏・主査佐藤氏・事務局西町

○欠席 ラダーサポート宮西氏・ビビット南郷田中雅人氏

## 【確認・報告事項】

最初に常盤野新会長より挨拶

その後、自己紹介

## 【常盤野会長より以下の説明と方向性の提示】

\*白石地域部会 過去の経緯などの説明

\*規程の確認

\*地域課題の抽出で停滞しがち。それぞれの現場での困りごとや疑問から着目し、考えていくことが現実的ではないか。広く会員が登録できるようにしていきたい。

\*事業計画の提出 締切期限は現時点では引継ぎされていない。

\*毎月1回、会員向けの勉強会を実施。その他、子供部会は年3回のコアな勉強会を実施。

就労部会はコロナで動きが鈍化した。新年度は改めて活動について検討していきたい。

## 【昨年度からの引継ぎ事項 服部美代子氏からの訴訟の件】

シムス斎藤氏から経緯について説明

現在の状況：札幌市あてに訴状は届いていない。今後、訴状が届き次第、札幌市法制課で対応をしていく。

斎藤氏が被害者の会設立し、独自に動くことを報告。

例年、不正が増加傾向にあることは事実であり、このような実態を踏まえた上で今後の部会活動にあたっていくことを基本姿勢としたい。

## 【これからの地域部会について考えること 日々の実践から各自の意見を聞く】

※常盤野会長より 白石地域部会 運営委員会 での議論のための参考メモが提示される。

常盤野氏：自立支援協議会が知られていない。過去の部会記録から、プロジェクトチームなどで検討される事例が、その後どうなっているのか、経過が気になるものもあった。

日頃思っている疑問などが気軽に話される場にしていきたい。

岸井氏：活発な議論になる部会にしたい。司会進行を回せるようにしたらどうか。部会長ばかりが話すスタイルも大変。数か月は〇〇の事業所で、など。三か月ほど。

### 決定 持ち回りで行う方向とする

常盤野氏：相談室さんは、一番問題点を知ることが多いのでは。

竹本氏：一か所で抱えるとなると辛くなるため、チームを組むことが多い。この場で検討会でも良いし、事業所に直接助言をする形でも良い。児童だと一時保護に関わるようなこともあるため、この過程で色々な問題が出る。・家庭内で起きている色々な問題ごとに関わってほしいと要望が来ることが多い。きよサポでは、担当を決め、学校の教員などに相談室の役割、サービス提供、家族との関係性構築を働き掛けていく。

常盤野氏：借金が膨らんで返せないなどの課題を抱えている人も多い。

服部氏：高次脳機能障害のメンバーでは、身辺的な部分で特徴が出るが、GHから情報共有を受けた。関係機関同士が集まりすぎると、大層なことだと印象を持つ人もいる。就労支援部会では、気軽に話せる雰囲気を作り、互いの事業所間で意見交換が活発化できるような場を考えている。〇〇カフェ、という形で集まれるコミュニティを作りたい。

斎藤氏：白石のこども部会は、8年前に立ち上げた。何故作ったか、児童デイのサービス底上げをしたかった。すべての職員が専門職でなくても良い、とされているが、それなりの知識が必要であると感じ、そういった無資格の方などに向けて研修会を開き続けてきた。しかし、これだけでは限界を感じ、1事業所だけで対応しきれないような複雑な問題を抱えている家庭も多く、自立支援協議会で対応できる場所もなかった。このような事例が自立支援協議会で対応できるようにすることが大切で、研修会の開催だけではだめだと感じている。子ども部会の中に幹事会を作ろうと思っている。そこで整理されたものをこの地域部会に持ち込める仕組み作りをしたいと考えている。

柳氏：社協では、障がいに関する案件は、相談室に繋げる形が多い。金銭課題がある場合は、日常生活自立支援制度を使う。困っている人が隠れている可能性もある。(ニーズ)

稲垣氏：障がいに関する連携の中で、親子で障がいがあるケースも多い。障がい当事者で支援機関で働きたいと希望する人も多いが、ピアサポーターの存在が知られておらず、積極的に取り入れる事業所が少ない。

岡崎氏：4月から地域で働くことになった。自立支援協議会がどのような動きであるのか、存在は知っていたが実働はわからず、実践内容が明確になると、より参加が広まるように思っている。ご家族の課題、支援者の課題などの課題整理が必要。

赤杉氏：皆さんが話されている方向性は、突き進んで良いのでは。まずはこの中での困りご

とをしっかりと共有し、定例会に繋げていくとよい。困りごとをまずはフィードバックする場があり、これをグループワークで取り扱う、など。

長瀬氏：ピアサポーターのお話から、当別町で当事者のみで作られた部会があり、そういった形がここでもできると良いなと思った。

佐藤主査：本日の話し合いで、福祉の奥深さを感じた。一か所の部署で困りごとをカバーするのが難しいのは日々感じており、こういった部会の中でも相談できるようになり、そこから繋げていけるようなことができればよい。

#### 【次回検討事項】

岸井氏より 規程 第2条2(2) の意思決定について 現在は 出席者の過半数により決定となっているが、出席者が少ないこともあり、この記載でよいか疑問が残るとの発言があり、次回検討することとなる。

#### 【周知連絡】

子ども部会5月13日に第一回目勉強会 アタッチメント基礎講座 が開催される。

#### 【次回開催】

令和4年5月18日(水) 10:30-12:00 白石区役所2階 手前側会議室